ロードピア排水性配合設計システム

操作マニュアル

大陸建設株式会社

索引

第	1章	お	使いになる前に	1
	第1	節	インストール時の注意	1
第	2章	初	期データの登録	2
	第1	節	初期設定	2
		プラ	ント設定	2
	第2	節	環境設定	3
		環境	設定	3
	第3	節	規格の登録	5
		粒度	規格の登録	5
		混合	物規格の登録	6
	第4	節	材料の登録	7
		アス	ファルトの登録	7
		石粉	の登録	9
		細骨	材の登録	10
		粗骨	材の登録	12
第	3章	配	合設計	15
	第1	節	配合設計作業の開始	15
	第2	節	室内配合設計	16
		0 /+·	田母社の物理性生	
		3 使	用有材の初生住扒	16
		3 使 粒度	用有材の物理性状 の配合率の設定	16 16
		3 使 粒度 計算	用すれの物理性が この配合率の設定 に用いる材料の密度	16 16 17
		3 使 粒度 計算 改質	市市村の初連住(A この配合率の設定 に用いる材料の密度 材混入率	16 16 17 17
		3 使 粒 度 計 算 3 粒 3	市市村の初達住 で配合率の設定 に用いる材料の密度 材混入率 度のダレ試験	 16 16 17 17 17
		3 使度算質 払 ラ	市市村の初達住 の配合率の設定 に用いる材料の密度 材混入率 度のダレ試験 フ設定方法	 16 16 17 17 17 18
		3 粒 計 改 3 グ 3 使 度 算 質 粒 ラ 粒	用す材の物理性状 この配合率の設定 に用いる材料の密度 材混入率 度のダレ試験 フ設定方法 度の密度試験及び	16 16 17 17 17 18
		3粒計改3グ3カ使度算質粒ラ粒ン	 市町村の物理住状 この配合率の設定 に用いる材料の密度 (材混入率 度のダレ試験 ・フ設定方法 度の密度試験及び ・タブロ試験 	 16 16 17 17 17 18 21
		3粒計改3グ3カ相使度算質粒ラ粒ン関	市市村の初達住 (の配合率の設定 に用いる材料の密度 (材混入率 度のダレ試験 つ設定方法 度の密度試験及び (タブロ試験 図	 16 16 17 17 17 18 21 23
		3粒計改3グ3カ相決使度算質粒ラ粒ン関定	 市町村の物理住秋 この配合率の設定 に用いる材料の密度 (材混入率 度のダレ試験 フ設定方法 度の密度試験及び タブロ試験 図 :根拠図 	 16 16 17 17 17 18 21 23 24
		3粒計改3グ3カ相決決使度算質粒ラ粒ン関定定	 市町村の物理住秋 この配合率の設定 に用いる材料の密度 (材混入率 度のダレ試験 フ設定方法 度の密度試験及び タブロ試験 回 :根拠図 :配合 	 16 16 17 17 17 18 21 23 24 24

透水試験	26
カンタブロ試験	26
まとめ	26
第3節 プラント配合設計	27
ホットビン性状と合成粒度	27
現場配合表	27
試験練り混合物の	
マーシャル安定度試験	27
最終現場配合表	28
第4章 配合設計書の印刷	29
第1節 印刷の設定	29
印刷設定フォームの表示	29
プリンタの設定	29
第2節 印刷の開始	30
プレビュー画面の説明	30
第5章 合材ファイルの管理	31
第1節 合材ファイルを開く	31
作成した合材ファイルを開く	31
第2節 合材ファイルを保存する	32
作成した合材ファイルを保存する	32
第3節 合材ファイルを削除する	33
作成した合材ファイルを削除する	33
第6章 品質管理に移行する	34
第1節 品質管理に移行	34

第1章 お使いになる前に

インストールの注意

インストールを始める前に、あらかじめほかの Windows アプリケーションを全て終了させてください。

第2章 初期データの登録

第1節 初期設定

第1項 プラント

最初にプラントの設定をします。

粒度規格	[00]標準
合材規格	[00]標準
プラント	tairiku-1000 💌

画面中央部にある「プラント」ボタンを押して下 さい。

プラント情報を登録するウィンドウ(以下のフォ ーム)が表示されますので、登録してください。

📝 新規 🗙	前除 🚔 開 🖫	保存	: 🖌 採	用 ┃ 圓 開	เปล
プラント名					
tairiku-1000		•	計量順	ビン名	粒度範囲
	▶ 標準のプラント(こする	1	1BIN	37.5_13.2
	<u> </u>		2	2BIN	13.2_4.75
バッチ計量値	1000 K	٢g	3	3BIN	4.75_2.36
力計の係数	1.0		4	4BIN	2.36_0
			5		
初期計量			6		
○ 細骨計量	▶ ④ 粗骨計量			_	

尚、「プラント名」、「バッチの計量値」、「力計 の係数」、「ビン名」の入力は必須です(使用しな いビン名は空白にします)。

※すでに品質管理・配合設計でプラント登録を行っている場合、「ビン名」は同じ文字を入力してください。(全角・半角に注意してください)

第2節 環境設定

第1項 環境設定画面の呼び出し

環境設定画面を呼び出すにはメイン画面上部 の「設定(O)」をクリックし、次に「環境設定 (O)」をクリックして呼び出します

🕐 排水性舗装用配合設計システム(国土交通省タイプ) ver.1.0.:

ファイル(F)	データ(D)	設定(O) 使い方(H)	
🔒 保存	Ø 入力	環境設定(O)	BZ
		データの保存先(P)	

第2項 環境設定画面の解説

会社情報

会社名	大陸建設株式会社	
事業所		
住所1	北海道釧路市星が浦南	1-1-2
住所2		
電話番号	0154-65-1000	
FAX番号	0154-65-1001	
鑑の会社名	るで使用されます。	更新

ライセンス情報を登録する画面です ここで登録された会社名は鑑の下部分に 印刷されます

ライセンス情報が新規に入力または更新 された場合は更新ボタンを押してください。

計算



数値を扱う部分に関しての設定です

「粒度規格」

ここがチェックされていると、粒度規格に "-"(ハイフン)が入力されている場合、 篩い目は有効です。規格が無いものの篩い目は 使用したい場合に使用されます 標準ではチェックされております

「改質剤使用時」

たとえばアス量 6.5%で改質剤混入率が 3%だった場合、改質剤の配合率は 0.195% となり、通常小数第二位までの計算では 切り上げられてしまう数字が存在した場合 に使用される機能です 標準ではチェックされておりません 印刷

会社情報 計算 印刷	その他
「グラフの色」	
粒度規格範囲	
上方粒度	
中央粒度	
下方粒度	
ロチ設定 「作成月を表示しない)(平成〇年のみ表示)
□→子設定 □ 作成月を表示しない □ 作成月日を日までま	ヽ(平成〇年のみ表示) 表示する
ロー子設定 「作成月を表示しない 「作成月日を日までま 「バージョンナンバーを)(平成〇年のみ表示) 表示する 印字する
ロノ子該定 「作成月を表示しない 「作成月日を日までま 「バージョンナンバーを 鑑で使用されるロゴ	\(平成○年のみ表示) 表示する 印字する
ロ子設定 □ 作成月を表示しない □ 作成月日を日までま □ バージョンナンバーを 鑑で使用されるロゴ 参照	\(平成○年のみ表示) 表示する 印字する

印刷に関する設定をする画面です

「グラフの色」

- ・粒度規格の範囲が選択された色で塗りつぶされます。「粒度規格範囲」ボタンを押し、色を 選択してください。
- ・上方・中央・下方粒度のラインの色を設定し
 ます。各種ボタンを押し、色を選択してくだ
 さい。

「印字設定」

鑑の印刷の設定です。

標準ではどちらもチェックされておりません

鑑で使用されるロゴ

鑑の印刷の際、会社名の横に画像を表示させることができます。通常、自社のロゴを使用します。

その他

会社情	■報│計算) 印刷	その他			
	賃管理の合	:材データ()	D更新			
C	常に更新す	1 3				
C	常に更新し	しない				
(•	その都度道	【訳する】				
_	····					
	監に報告者	欄を描画す	する			
and the second s						
	各試験(2試	験日を描述	画する			
	各試験(2試	験日を描述	画する			
	各試験に試	験日を描述	画する			
	各試験に試	験日を描述	画する			
	各試験に試	験日を描述	画する			
	各試験に試	験日を描述	画する			
	各試験(2試	験日を描 述	画する 	a. 1	8812	

データを登録した際、そのデータを品質管理 システムの合材データに反映させるかどうか の設定です。

標準では「その都度選択するに選択されており ます。

「鑑に報告者欄を描画する」は鑑の右下に 報告者の欄が描画されます。

「各試験に試験日を描画する」は配合設計内での 各試験に試験日を描画されます。

「登録」ボタンで全ての設定を保存します

第3節 規格の登録

第1項 粒度規格の登録

粒度規格 合材規格	[00]標準 [00]標準	ボタンから
プラント	tairiku-1000	•
プラント	, tairiku-1000	
		配合設計システム(国土交通行

最初に、粒度規格を登録することにします。

	⚠️ 排水性舗装	開配合設計システム(国:	土交通省
	ファイル(F)	データ(D) 設定(O)	使い方(
	🔚 保存	粒度規格(R)	
メニューから	混合物名 [印刷名 [作成年月日]	混合物の規格(K) プラント情報(P) 材料(Z) 合材データ(G)	Þ

メインフォームの「粒度規格」ボタンを押すか、 フォーム上部のメニューにある「データ(D)」→ 「粒度規格(R)」を押すことで、粒度規格の入力 フォームが表示されます。

尚、標準的な規格は予め登録してありますが、 新しい規格等が必要な時は、追加して登録ができ ます。今回は操作の説明のため、新規に入力する ことにします。

フォームが表示されましたら、粒度規格の規格 名と規格値を入力します。 粒度規格のフォーム



データは、上の例のように下限値と上限値をア ンダースコア「__」(シフト+ろ)で結んで入力し ます。

100%のように、上限値と下限値が同じ場合 は、ひとつだけデータを入力してください。

	サンプルデータ				
粒度	規格名「[H]排フ	水性舗装用混合物」			
	フルイ目	規格値			
	19.0	100			
	13.2	92_100			
	9.5	62_{85}			
	4.75	14_{35}			
	2.36	14_{25}			
	0.600	6_19			
	0.300	5_14			
	0.150	4_9			
	0.075	2_7			
※規	格値は必ず半角	で入力してください			

データの入力が終わりましたら「登録」ボタン を押してください。

第2項 混合物の規格の登録

次に、混合物の規格を登録します。

[00]標準	•
[00]標準	
tairiku-1000	ボタンから
	[00]標準 [00]標準 tairiku-1000

	排水性舗装	用配合設計システム(国土交通省を
	ファイル(F)	データ(D) 設定(O) 使い方(H
メニューから	🔚 保存	粒度規格(R)
		混合物の規格(K)
	混合物名 「 印刷名 「 作成年月日 ;	プラント情報(P) 材料(Z) ・ 合材データ(G)

メインフォームの「混合物の規格」ボタンを押 すか、フォーム上部のメニューにある「データ(D)」 →「混合物の規格(K)」を押すことで、粒度規格 の入力フォームが表示されます。

尚、標準的な規格は予め登録してありますが、 新しい規格等が必要な時は、追加して登録ができ ます。今回は操作の説明のため、新規に入力する ことにします。

フォームが表示されましたら、混合物の規格名 と規格値を入力します。 混合物の規格フォーム

110(2	:/ **###=(<u>L</u>			
] 新規	╳ 削除	🗟 熙 【	🚽 保存 🗹 🛃	彩用 👖 閉
格名 🕞]排水性舗	装用混合物		
材の規格			マーシャル試	険の規格
	細骨材	粗骨材		規格値
見掛密度	-	-	実際密度	-
長乾密度	2.55_	2.50_	空隙率	16_18
た密度	-	-	飽和度	-
及水率	-	_2.5	安定度	4.9_
安定性損	_10	_12	70~値	20_40
]ス減量	-	_20	S/F	-
	12	in a start	桂智安定	

上の例のように下限値と上限値をアンダース コア「__」(シフト+乙)で結んで入力します。 尚、「_2.5」の場合は「2.5以下」を表し、「2.5_」 の場合は「2.5以上」であることを表します。

サンプルデータ					
規格名「[RG]	再生粗粒度	アスコン」			
細骨材 粗骨材					
見掛比重	_				
表乾比重	2.55_{-}	2.50_{-}			
かさ比重	_				
吸水率	_	_2.5			
安定性	_10.0	_12.0			
 ロス減量 –20.0					

規格値
_
16_18
—
4.9_
20_40
—
—

データの入力が終わりましたら「登録」ボタン を押してください。 第4節 材料の登録

次に、使用する材料の登録を行います。

以降は例として、排水性舗装用混合物(目標 空隙率17%)の配合設計書を作成する目的で材 料を登録する事にします。

尚、合材は以下の材料を使うことにします。

材料名	登録先
ストアス 80-100	アスファルト
石灰石粉	石粉
粗目砂	软晶壮
砕石 13-5	利门门们

まず最初にアスファルトを登録することにします。

第1項 アスファルトの登録

最初に、アスファルトの性状を登録します。





メインフォームの「瀝青材」ボタンを押すか、 フォーム上部のメニューにある「データ(D)」 →「材料(Z)」→「アスファルト(A)」を押すこと で、アスファルトの入力フォームが表示されます。

フォームが表示されましたら、材料名、品質、 規格値を入力します。

ノアイル	(三) 補朱(三)		1	1		1	
📝 新規	. 🗙 肖明余	🗟 開	🔚 保存	E P	刷 😽	選択	<mark>」</mark> 開じる	
材料名	排水性舗装用	目アスファル			•			
印刷名	, 排水性舗装用	目アスファル	<u>ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ</u>		=			
產地					_			
納入者	大陸化成(株))			_			
≣≭≣⇔□								
	2017/03/11			Г	<u> </u>		Г	
				新アス	混合	後	規格値	
	針入度[25 [*]]	C](1/10m	n)	65			40_	
	軟化点(℃)			103.0			80.0_	
	伸度[15℃]			96			50_	
	蒸発後の針入度比(%)							
	薄膜加熱	変化率(%)	-0.01			_0.6	
	薄膜加熱	計入(%)		84.6			65_	
	可溶分(%) 引火点(℃)							
				336	_		260_	
	密度[15℃]	(g/cm3)		1.020			1.000_	
	粘度(SFS)源	昆合温度(C)	170	_		-	
	粘度(SFS)和	相温度(C)	155			1	
	タフネス(N·r	n)		29.1	-		20.0	
	ナナジナイ(N =ハ=1 01 1 m	• m)		21.3	_		15.0_	
	該計針人度	E.		20	1			
	フラーム肥化			-50	-		-	
	曲けえ動は	(kPa)					1	
	血いに事重	(10.0)		_				

データは、上の例のように下限値と上限値をア ンダースコア「__」(シフト+ろ)で結んで入力し ます。

尚、「_100」の場合は「100以下」を表し、「100_」 の場合は[100以上]であることを表しています。

サンプルデータ 材料名「排水性舗装用アスファルト」 印刷名「排水性舗装用アスファルト」 産地 「」 納入者「大陸化成(株)」 試験日「2017/05/11」 新アス 規格値 針入度 6540_ 軟化点 103.080.0_ 伸度 96 50_{-} 蒸発後の針入度比

薄膜 加熱減量	-0.01	_0.6
薄膜 加熱針入	84.6	65_{-}
可溶分		
引火点	336	260_{-}
密度	1.020	1.000_
粘度 混合温度	170	
粘度 締固温度	155	
タフネス	29.1	20.0_{-}
テナンシティ	21.3	15.0_
設計針入度		
フラース脆化点	-30	-

※<u>新アス・規格値は必ず半角</u>で入力してくださ い。尚、密度は必須で入力してください。

データの入力が終わりましたら「保存」ボタン を押してください。

第2項 石粉の登録

次に石粉の性状を登録します。



メインフォームの「石粉」ボタンを押すか、フ ォーム上部のメニューにある「データ(D)」→「材 料(Z)」→「石粉(F)」を押すことで石粉の入力フ ォームが表示されます。

フォームが表示されましたら、材料名、品質、 規格値を入力します。

データは、右上の例のように下限値と上限値を アンダースコア「__」(シフト+ろ)で結んで入力 します。

尚、「_100」の場合は「100以下」を表し、「100_」 の場合は[100以上]であることを表しています。 石粉の登録フォーム

の石粉の	登録			_	
ファイル	(Z) 編集(E)				
🛃 新規	🗙 削除 🔗 開	〈 🔚 保存	7 🖨 印刷	✔ 選択	👖 閉じる
材料名	石灰石粉		•		
印刷名	石灰石粉				
產地	釧路産				
納入者	大陸石灰(株)				
試験日	2017/05/11	• (*)		
		性状値	規格値		
	<mark>フルイ目600µm</mark>				
	300µm	100.0	100.0		
	150µm	95.0	90_100		
	75µm	84.0	70_100		
	密度	2.700	2.6_		
	水分(%)	0.01	_1.0		
	PI				
	加熱変質				
	7日~値(%)				
	吸水膨張(%)				
	剥離試験(合·否)				

	サンプルデータ						
材料	名「石」	灰石粉」					
印刷	名「石」	灰石粉」					
産地	「釧	路産」					
納入	者「大」	陸石灰(株)」					
試験	日 「20	05/04/01」					
		性状值	規格値				
	0.6mm						
	0.3mm	100	100				
	0.15mm	95.0	90_100				
	0.074mm	84.0	70_100				
	比重	2.70	2.6_{-}				
	水分	0.01	_1.0				
<u>※性</u>	状值、規格	値は必ず半	<u>角</u> で入力し	てくだ			
さい	。尚、比重、	、水分は必須	須です。				

データの入力が終わりましたら「保存」ボタン を押してください。

細骨材の入力フォーム

📝 新規 🗙 削除 🗁 獣 📓 保存 🧁 印刷 🗹 選択 👖 閉じる

-

♪ 新骨材の登録 ファイル(Z) 編集(E)

材料名

印刷名 産地

次に新骨材を登録します。新骨材には細骨材 と粗骨材があります。まずは細骨材から登録を しましょう。

細骨材の登録

細骨材の登録	Ŕ		納入者		•		
細骨材1 細骨材2 細骨材3	消去ボタンから消去	拉	変規格 [00] ³ フルイ目 53.0 37.5 31.5 26.5 19.0 13.2	禁 世状値	ノストレージョン	 ●村区分 ○ 粗骨村 項目 見掛密度 表乾密度 かさ密度 四本目 	す © 細骨杉 性状値
メニューから			4.75 2.36 0.600 0.300			吸水量 安定性損 ロス減量 細長扁平	
	混合物の規格(K) 混合物名 プラント情報(P) 印刷名 材料(Z) → 作成年月日 合材データ(G) 日種空陸車 20 % 粒	7	0.150 0.075				
	日標2.36mmj通過率 20 % 合 石粉(F) 遵書材 消去 ////////////////////////////////////	L z	ず、最初	纫に、*	粒度規格	を選択し	ます。

メインフォームの「細骨材」ボタンを押すか、 フォーム上部のメニューにある「データ(D)」→ 「材料(Z)」→「細骨材(S)」を押すことで、細骨 材の入力フォームが表示されます。

試験日 • 粒度規格 [00]標準 -

粒度規格のデータが無い場合は第3節の規格 の登録を参照してください。

細骨材の登録フォーム

	#/179兄 🥖			wit Crinbi	▼ 准小 .	👖 🗌 କାଠଟ
材料	名 粗目	砂		•		
印刷	名 粗目	砂				
库	地底路	產				
納7	者大陸	研り利(株)				
≣∃≣≇		2/05/14				
57,9%		//05/11	7	rii e d		
度規	uis I[H]¥	8869				
2	ルイ目	性状値	規格値	- 一 竹材区分	t 💽 âm-	昏材
4	.75	100.0	<u>.</u>		,	
2	.36	97.3	20	項目	性状値	
0	.600	60.5	•	見掛密度	2.795	
0	.300	25.2		表乾密度	2.700	
0	.150	8.9	72	かざ密度	-	
0	.075	1.1	-	吸水量	2.00	
				安定性損	1.4	
				口入減量	-	
				細長扁半	-	

次に、以下のデータを入力してみましょう。

サン	プルデータ							
材料	·名「粗目砂」							
印刷名「粗目砂」								
産地	産地 「庶路産」							
納入	者「大陸砂利(株)	Ľ						
試験	日「2005/04/01」							
区分	· 「細骨材」							
	フルイ目	規格値						
	4.75	100.0						
	2.36	97.3						
	0.600	60.5						
	0.300	25.2						
	0.150	8.9						
	0.075	1.1						
	項目	性状值						
	見掛け密度	2.795						
	表乾密度	2.700						
	かさ密度	_						
	吸水量	2.00						
	安全性損失	1.4						
	ロス減量	_						

※<u>規格値、性状値は必ず半角</u>で入力して ください。尚、見かけ、表乾密度、吸水 量は必須です。

i_____i

データの入力が終わりましたら「保存」ボタンを 押してください。

粗骨材の登録

粗骨材の登録フォーム



メインフォームの「粗骨材」ボタンを押すか、 フォーム上部のメニューにある「データ(D)」→ 「材料(Z)」→「粗骨材(L)」を押すことで、粗骨 材の入力フォームが表示されます。

1	$P - \mathcal{I} (\underline{Z})$	編集(目)	1			
Ø	新規	🗙 削除	層關	🔚 保存	🖨 印刷	✔ 選択	<u> ព</u> ្រៃខេ
木					•		
Εſ							
	。 走地						
4	/≝ש +1.+K [
h							
=	「「日朝」			_			
加度	[00]標準		-			
	フルイ目	性状	値 規構	各値	骨材区分	+ _ ~	m_GL++
	53.0				** *E1F1172	រ ÷ ត	0.14.151
	37.5				項目	性状値	
	31.5				見掛密度	_	
	26.5				表乾密度	-	
	19.0	_			かざ密度		_
	13.2				吸水量		_
	4.75				安定性損	-	_
	2.36	-	-		口入演量		_
	0.600	-			細長扁半		2
	0.300	-					
	0.150						
	0.075						

まず、最初に、粒度規格を選択します。

試験日		-
粒度規格	[00]標準	-

粒度規格のデータが無い場合は第3節の規格 の登録を参照してください。 次に、以下のデータを入力しましょう。

粗骨材の登録フォーム

771)	$l(\underline{Z})$	編集(<u>E</u>)					
💋 新	現 🗡	削除 🜈	う聞く	🔚 保存	合 印刷	✔ 選択	<u> 開</u> じる
材料名	品 砕石	5-2.5			•		
印刷名	碎石	5-2.5					
產地	釧路	產					
納入者	大陸	碎石(株)					
試験日	2017	/05/11		▼ 木曜	3		
粒度規格	[H]¥	降石13-5		-			
フル	個	性状値	規格	8値	骨材区分		
19.	0	100.0	-		(租借杯	f (• ň	时初
13.	2	99.1	-		項目	性状値	
9.5		64.8	-		見掛密度	2.803	
4.7	5	1.5	-		表乾密度	2.705	
2.3	6	0.3	53		かさ密度	-	
					吸水量	2.04	
					安定性損	0.3	
					ロス減量	17.5	
					細長扁平		

_		
	サンプ	ルデータ
	材料名	「砕石 5-2.5」
	印刷名	「砕石 5-2.5」
	産地	「釧路産」
	納入者	「大陸砕石(株)」
	試験日	[2005/04/01]
	区分	「粗骨材」

フルイ目	規格値
19.0	100.0
13.2	99.1
9.5	64.8
4.75	1.5
2.36	0.3

項目	性状値
見かけ比重	2.803
表乾比重	2.705
かさ比重	_
吸水量	2.04
安定性損失	0.3
ロス減量	17.5

※<u>規格値、性状値は必ず半角</u>で入力してくだ さい。尚、見かけ、表乾密度、吸水量は必須 です。

データの入力が終わりましたら「登録」ボタンを 押してください。

以上で骨材の登録は完了です。次からは、実際に 材料を組み付ける作業に入ります。

その前に、メインフォームの混合物名と印刷名 に「排水性舗装用アスコン」と入力、目標空隙率 に「17」と入力、目標 2.36mm 通過率に「20」 と入力した後、「保存」ボタンを押してデータを 保存してください。 最終確認として、材料のデータがきちんと半角 で入力されているかどうか確認してください。全 角の数値では正常な組付けが出来なくなること があります。

間違いがあった場合は間違い箇所を修正した 後、「保存」ボタンを押してください。

第3章 配合設計

第1節 配合設計作業の開始

第1項 配合設計の開始

次は登録された材料を使って、配合設計を行い ます。第2章で保存されたデータを呼び出しまし ょう。

データを呼び出すにはメインフォーム上部の 「ファイル」→「開く」を選択するか、混合物名 のドロップダウンリストから混合物名を選択し ます。

1-1.「ファイル」→「開く」を選択し、

1	非水性舗装用配合設計多	レステ
77	マイル(<u>E)</u> データ(<u>D</u>)	設定
	新規作成(N)	5 E
	開<(O)	
	保存(S)	えコン
	削除(D)	スコン
	印刷(P)	
	終了(Q)	

1-2.開きたいファイル名を選び「選択」ボタンを 押す。

クレージャング ファイルを開く		X
排水性舗装用アスコン		
12		
	猒	キャンセル

2-1.ドロップダウンリストから選択する

混合物名	排水性舗装用アスコン	•
印刷名	排水性舗装用アスコン	
作成年月日	2017/05/11	□ 併進市 ゆずロ試験を行う

混合物データ呼び出し後、「データ入力」ボタン を押すことで、配合設計作業に移行することがで きます。



第2節 室内配合設計

第1項 使用骨材の物理性状

使用骨材の粒度を確認します。

中央部のテキスト(編集可)は印刷時に出力され ます。確認が終わったら「次へ」ボタンを押して ください。

	碎石 5-2.5	粗目砂	石灰石粉					
19.0	100.0							0
13.2	99.1							
9.5	64.8							
.75	1.5	100.0						
2.36	0.3	97.3						
0.600		60.5						
).300 上記の 注設定する	骨材を使用し、2 る。その場合も石	25.2 .36mmのフ) 粉の使用量	100.0 レイの通貨量を3 動は5%固定とし	%刻みで3種類 て行う。	類の配合語	定粒度	文書(初期値(2	を .戻す
D.300 上記の付 を設定する	骨材を使用し、2 5。その場合も石	25.2 .36mmのフ) 粉の使用量	100.0 レイの通貨量を3 比は5%固定とし	%刻みで3種類 て行う。	頃の配合設; 	定粒度 	文書《 初期値に	を 戻す
10 10 10 10 10 10 10	骨材を使用し、2 5。その場合も石	25.2 .36mmのフ) 粉の使用量	100.0 レイの通貨量を3 Mは5%固定とし	%刻みで3種 て行う。	頃の配合設; 	定粒度	文書考 初期値に	を .戻す
10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	骨材を使用し、2 3。その場合も石	25.2 .36mmのフル 粉の使用量	100.0	%刻はで3種的 て行う。	頃の配合設)	定粒度	文書《 初期値(こ	を 涙す
上記の1 を設定する 2000 2000 2000 2000 2000 2000 2000 20	骨材を使用し、2 5。その場合も石	25.2 .36mmのフリ 粉の使用量	100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0	%刻はで3種類 て行う。	頃の配合語: 	定粒度	文書後	を 戻す
上記の1 上記の1 記録定する	骨材を使用し、2 3。その場合も石	25.2 .36mmの7) 粉の使用量	100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0	%刻みで3種類 て行う。	項の配合設	定粒度	文書 初期値に	を
上記の付 上記の付 経設定する	骨材を使用し、2 る。その場合も石	25.2 .36mm(07) 粉の使用量	100.0 レイの通貨量を3 比は5%固定とし	%刻みで3種 て行う。		定粒度		を 戻す

第2項 3粒度の配合率の設定

下方・中央・上方の3粒度を設定します。 配合率を入力して「ENTER」キーを押すと粒度グラ フを再描画します。設定が終わったら「次へ」ボ タンを押してください。



•	入力例	
---	-----	--

	石灰石粉	粗目砂	碎石 5-2.5
下方	5.0	12.1	82.9
中央	5.0	15.2	79.8
上方	5.0	18.3	76.7

吸水率が1.5%超過時の採用条件を選択して、計算に用いる密度を求めます。設定が終わったら「次へ」ボタンを押してください。

 	れる場合の採用 掛け密度と表乾密 は密度と表乾密 掛け密度を使用 け密度とかさ密度	1条件 密度の平均値 渡の平均値 月 度の平均値	<u>ē</u>		
++++1 /2		密度		n ale sta	+5 00 sty m
机料石	見掛	表乾	かさ	吸水平	採用密度
石灰石粉	-	1	-	1	2.700
粗目砂	2.795	2.700	-	2.00	2.795
砕石 5-2.5	2.803	2.705		2.04	2.754

第4項 改質材混入率

バインダー対しての改質材の混入率を入力して ください。改質材を使用しない場合は空白にし ます。設定が終わったら「次へ」ボタンを押し てください。

♪ 改質剤混入率	1000 Contraction	X
	< 戻る	次< >
バインダーに対しての	改質剤混入率=	%

第5項 3粒度のダレ試験

ここではダレ試験方法及び条件を入力します。 また、各3粒度のボタンを押してダレ試験の入力 を行う必要があります。設定が終わったら「次へ」 ボタンを押してください。

		(反る) 次ヘ>
い試験方法・条件	文章を初期値に戻す	
2.36mm通過質量百分 ~6.0%の範囲で0.5%核 、それぞれのアスファルトモ ない場合は、4.0%以下す みで試験を追加する。	率を基準に設定した3粒度の骨材配 1みに5点変えた、5点、3粒度の15種 ルタルのダレ量を求める。 4.0~6.09 たは6.0%以上のアスファルト量につい	合率について、アスファルト量を4.0% 塗類の試料を用いてダレ試験を行い %の範囲の中で変曲点が明確になら いて変曲点が明確になるまで0.5% 刻
		Ŧ
	ダレ試験 ダレ	の変化点
	上方粒度	
	中央粒度	
	下方粒度	

「下方粒度」「中央粒度」「上方粒度」 ボタンを押すことで各粒度におけるダレ試 験データの入力画面を呼び出すことが出来 ます。

	ALL LEAD	5/05/11		試験者	小笠原	飛太	-		
化烧	-名 排水	(性舗装用アスファ)	uh _	・ バインダー	加熱温度	170		ページ	
⊞ìá		設計	41	- 混合温度	: 1	170		1	[
生時	間 1				.	170		- <u>-</u>	
1		0	Ø	٩	۹	Í	6	6	
л	インゲ量	試験前容器	容器+試料	試料質量	試験後容	番り	封留質量	損失率	C
1		2475.4	4552.7	2077.3	24	80.1	4.7	0.23	
2		2474.7	4562.7	2088.0	24	78.7	4.0	0.19	
3	4.0	2487.5	4538.6	2051.1	24	91.2	3.7	0.18	
4									
5									
6	平均							0.20	
7	20	2480.6	4576.1	2095 5	24	90.5	9.9	0.47	
							交点の	設定	
			4			X	接線10	D設定	
			3		/			D設定	
				0変曲点=5.3	Å		接線の	ענט	
					X		最適アスフ	 アァルト量	
			3.5 4.0	4.5 5.0	5.5	6.0	5.3		

ここではダレ試験の結果を入力します。 試験値を入力して「ENTER」キーを押すとグラフ を再描画します。アス量を変える場合は画面右の 「ページ」を切り替えてください。設定が終わったら「次へ」ボタンを押してください。

グラフの設定方法



マウスで赤い点をドラッグ(マウスのボタンを 押したままにするすることでグラフの微調整が できます。



接線の描画

[交点の設定]ボタンを押し、交点の設定モード にします。



グラフ上でマウスの左ボタンをクリックし、交 点を設定します。



再び[交点の設定]ボタンを押し、交点の設定 モードを解除します。



次に[接線1]ボタンを押し、接線1の設定モー ド にします



グラフ上でマウスの左ボタンをクリック し、接線1を設定します。**設定したら再び** [接線1]ボタンを押し、接線1の設定モー ドを解除します。



次に[接線2]ボタンを押し、接線2の設 定モードにします。



グラフ上でマウスの左ボタンをクリック し、接線2を設定します。

設定したら再び[接線2]ボタンを押し、接線 2の設定モードを解除します。 以上の行程を繰り返して微調整をします ・入力例

AS	1	2	3	4	5	6
	2475.4	4552.7	2064.0	2480.1	4.7	0.23
4.0	2474.7	4562.7	2081.1	2478.7	4.0	0.19
	2487.5	4538.6	2058.2	2491.2	3.7	0.18
						0.20
	2480.6	4576.1	2095.5	2490.5	9.9	0.47
4.5	2485.1	4570.1	2085.0	2494.0	8.9	0.43
	2479.5	4530.2	2050.7	2488.5	9.0	0.44
						0.45
	2484.6	4557.4	2072.8	2500.4	15.8	0.76
5.0	2472.0	4538.2	2090.4	2488.7	16.7	0.81
	2486.2	4561.0	2053.0	2502.7	16.5	0.80
						0.79
	2484.7	4537.5	2052.8	2521.9	37.2	1.81
5.5	2470.6	4561.0	2090.4	2507.9	37.3	1.78
	2484.4	4537.4	2053.0	2521.0	36.6	1.78
						1.79
	2471.1	4559.4	2088.3	2554.8	83.7	4.01
6.0	2472.7	4566.1	2093.4	2556.5	83.8	4.00
	2472.7	4536.5	2063.8	2555.5	82.8	4.01
						4.01

上方粒度



中央粒度

Г

AS	1	2	3	4	5	6
	2468.6	4605.4	2136.8	2473.3	4.7	0.22
4.0	2469.0	4559.4	2090.4	2473.4	4.4	0.21
	2480.8	4570.3	2089.5	2485.4	4.6	0.22
						0.22
	2466.5	4574.9	2108.4	2476.0	9.5	0.45
4.5	2472.7	4560.8	2088.1	2482.5	9.8	0.47
	2467.7	4601.5	2133.8	2477.9	10.2	0.48
						0.47
	2490.1	4601.8	2111.7	2509.4	19.3	0.91
5.0	2493.9	4573.1	2094.7	2497.2	18.8	0.90
	2473.1	4631.3	2145.7	2504.2	18.6	0.87
						0.89
	2487.3	4592.1	2104.8	2535.4	48.1	2.29
5.5	2493.9	4652.9	2159.0	2543.4	49.5	2.29
	2473.1	4574.6	2101.5	2521.3	48.2	2.29
						2.29
	2490.1	4585.4	2095.3	2575.4	85.3	4.07
6.0	2468.2	4573.8	2105.6	2555.5	87.3	4.15
	2475.9	4606.3	2130.4	2563.9	88.0	4.13
						4.12

グラフ



AS	1	2	3	4	5	6
	2479.2	4564.5	2085.3	2492.6	13.4	0.64
4.0	2489.1	4578.0	2088.9	2501.2	12.1	0.58
	2476.6	4565.2	2088.6	2488.4	11.8	0.56
						0.59
	2474.3	4553.7	2079.4	2492.8	18.5	0.89
4.5	2482.6	4558.8	2076.2	2500.8	18.2	0.88
	2489.6	4579.7	2090.1	2507.7	18.1	0.87
						0.88
	2476.9	4569.8	2092.9	2511.3	34.4	1.64
5.0	2489.7	4572.1	2082.4	2524.5	34.8	1.67
	2470.7	4553.6	2082.9	2504.7	34.0	1.63
						1.65
	2473.0	4561.5	2088.5	2545.3	72.3	3.46
5.5	2477.8	4553.0	2075.2	2550.9	73.1	3.52
	2476.5	4571.1	2094.6	2551.7	75.2	3. 59
						3.52
	2478.4	4565.9	2087.5	2594.5	116.1	5.56
6.0	2481.0	4564.3	2083.3	2596.9	115.9	5.56
	2486.0	4562.9	2076.9	2601.5	115.5	5.56
						5.56

グラフ



下方粒度

第6項 3粒度の密度試験及びカンタブロ試験



▼ 連続空隙率を求める ▼ 密度試験データをカンタブロ試験に流用する

※「連続空隙率を求める」にチェックすると、
水中質量を入力する欄が表示されます。水中質量
を入力すると、連続空隙率が求められます。
※「密度試験データをカンタブロ試験に流用する」にチェックすると、カンタブロ試験の高さ・
直径・容積・空中質量・密度・空隙率は密度試験の数値を使用されます。

・入力例

▶ 密度試験の空隙率を採用する

▶ 連続空隙率を求める

▶ 密度試験データをカンタブロ試験に流用する

※この項目にチェックすると、次に出てくる 相関図において、参照する空隙率の値を密度 試験結果の空隙率から採用します。チェックし ない場合はカンタブロ試験の空隙率を採用しま す。

▶ 密度試験の空隙率を採用する

①密度試験

「下方粒度」「中央粒度」「上方粒度」 タブの中にある「①密度試験」ボタンを押 すことで各粒度における密度試験データの 入力画面を呼び出すことができます。



上方粒度

1	2	3	4	13
	6.34	1102.7	10.17	639.9
	6.36	1103.9	10.16	641.7
5.0	6.31	1102.1	10.17	640.1
	6.35	1103.7	10.16	640.2
	6.33	1105.2	10.17	642.3
	6.34	1103.1	10.17	640.2
	6.35	1104.1	10.16	639.2
5.5	6.34	1106.3	10.17	641.2
	6.36	1106.9	10.16	640.7
	6.31	1102.9	10.16	 640.1
	6.33	1105.7	10.17	640.1
	6.34	1102.6	10.16	638.3
6.0	6.37	1107.3	10.15	639.7
	6.32	1103.5	10.17	638.4
	6.35	1102.0	10.17	638.3

中央粒度

	(2)	3	(4)	(13)
<u> </u>	¥		E	10
	6.33	1074.3	10.17	620.4
	6.36	1076.2	10.15	623.5
5.0	6.34	1078.2	10.16	625.1
	6.35	1079.0	10.16	624.6
	6.31	1077.6	10.17	622.9
	6.33	1086.2	10.17	628.7
	6.37	1087.1	10.16	627.4
5.5	6.34	1083.4	10.17	625.9
	6.30	1082.4	10.16	624.3
	6.35	1084.4	10.17	626.7
	6.32	1084.4	10.16	626.4
	6.34	1086.7	10.17	626.3
6.0	6.33	1084.9	10.15	626.1
	6.32	1083.6	10.16	624.4
	6.35	1086.3	10.17	625.9
L	1	1		

ンを押すことで各粒度におけるカンタブロ 試験データの入力画面を呼び出すことがで きます。



下方粒度

②カンタブロ試験

「下方粒度」「中央粒度」 「上方粒度」 1 3 4 (13) 2 1051.2 6.35 10.17 609.9 1050.7 6.33 10.16 608.4 5.0 6.34 1049.1 10.16 607.8 6.34 1048.9 10.16 608.2 6.36 1051.4 10.16 608.8 6.32 1051.8 10.17 609.2 6.33 1050.6 10.16 608.7 5.5 6.36 1050.2 10.16 607.4 1049.7 6.32 10.16 609.1 1048.9 6.34 10.15 608.3 6.36 1062.2 10.17 614.6 1058.4 6.3410.16 614.5 6.0 6.33 1059.3 10.16 613.6 1061.1 10.16 613.9 6.35 6.33 1056.7 10.15 610.9

タブの中にある「②カンタブロ試験」ボタ

・入力例

「密度試験データをカンタブロ試験に流用する」 にチェックされている為、試験後空中のみ入力 する。

	上方		中央		下方
	973.9		948.5		880.2
	968.3		914.3		874.3
5.0	970.6	4.8	952.7	4.6	878.7
	979.9		949.4		879.4
	976.8		944.6		879.2
	989.3		979.3		889.3
	986.0		972.1		892.1
5.3	993.7	5.1	978.8	4.9	888.5
	990.3		967.9		880.7
	995.4		970.1		886.2
	1023.0		979.0		905.0
	995.7		991.7		902.8
5.6	997.1	5.4	981.1	5.2	907.4
	993.9		977.7		907.6
	1002.2		978.2		905.8

第7項 相関図

ダレ試験・カンタブロ試験及び空隙率における 相関図を表示します。上部のテキスト(編集可) は印刷時に出力されます。

空隙率が重なる場合は「損失量:空隙率」の比率を調整してください。設定が終わったら「次へ」 ボタンを押してください。



密度試験とカンタブロ試験の入力が終わったら 「次へ」ボタンを押してください。

第8項 決定根拠図

相関図の結果を元に決定根拠図を表示します。 中央部のテキスト(編集可)は印刷時に出力され ます。空隙率を選択すると、根拠図より設定バイ ンダー量と 2.36mm 通過百分率が求められます。

設定が終わりましたら、「次へ」ボタンを押し てください。

👥 決定根拠図	C. Street	No. of Concession, Name	ra life	Roomers	-	NON-P-	×
バインダ・	ーのダレ領	钶域		初期值	< 戻る	>	<u>*^ ></u>
空隙率 17.0 最適アスファルト量 名対度毎のな	 % 2 ※ の決定根拠図 は試験 かいわず 	設定バイン .36mm通過配 (微調整可() 文章を初	ダー量 <mark>5.</mark> 百分率 20 Interキーで 期値に戻す	1 % 0 % 再計算) t	ダレ領域 () 中央米 () 3粒度 かた相関国体	立度の最適アス量」 の最適アス量」	₽
(2決定根拠図を 決定根拠図	作成し、目標空	· 願率を得ら	いる最適いや	インダー量と粒度	を決定します。	-	*
6							
4 3 2							
	18	19		20.0	1 2	22	23

第9項 決定配合

決定根拠図の結果から、設定バインダー量と、 空隙率、および2.36mm 通過百分率を決定します。 中央部のテキスト(編集可)は印刷時に出力され ます。設定が終わりましたら、「次へ」ボタンを 押してください。

			< 戻る		次へ >
	設定バインダー量	5.1	- %		
	空隙率	17.0	%		
	2.36mm通過百分率	20.0	%		
最適アスファルト量の決定 排水性舗装混合物と を行います。	根拠図 文章を初期値 して上記を決定配合とし、下記	に戻す 項目の性れ	」 犬・性能の品質確認	副式動使	
最適アスファルト量の決定 排水性舗装混合物と を行います。	根拠図 文章を初期値 して上記を決定配合とし、下記	(2戻す 項目の性れ 度試験	大・性能の品質確認	記載	, ,
最適アスファルト量の決定 排水性舗装混合物と を行います。	(根拠図 文章を初期)値 して上記を決定配合とし、下記 レママーシャル安定 レアンマーシャル安定 レアンククロ試験	(2戻す 項目の性れ 度試験	式・性能の品質確認	吉式戦争	
最適アスファルト量の決定 排水性離底混合物と を行います。	(根拠図 文章を初期)値 して上記を決定配合とし、下記 レマーシャル安定 マ カンタブロ試験 マ 室内透水試験	(こ戻す 項目の性れ 度試験	」 犬・性能の品質確認	∃式 š ¢	
最適アスファルト量の決定 排水性諸変現合物と を行います。	(根拠図 文章を初期)値 して上記を決定配合とし、下記 レマーシャル安定 レ カンタブロ試験 レ 室内(透水試験 レ 家内(透水試験)	<u>に戻す</u> 項目の性称 度試験 試験	犬・性能の品質確認	試験	





※品質性能試験を選択することができます。

※ダレの領域を中央粒度の最適アス量にするか、 3粒度の最適アス量の最適アス量をから設定 するかを選択できます。

第10項 骨材配合率の決定

目標 2.36mm 通過百分率を参考に、骨材配合率 を決定します。設定が終わったら「次へ」ボタン を押してください。

求められ:	た2.36mm)通过	西分率 2	0.0		< 戻る	次^ >
	石灰石粉	粗目砂	碎石 5-2.5		合成粒度	目標粒度
	5.0	15.0	80.0	19.0	100.0	-
19.0			100.0	13.2	99.3	-
13.2			99.1	9.5	71.8	-
9.5			64.8	4.75	21.2	-
4.75		100.0	1.5	2.36	i 19.8	20.0
2.36		97.3	0.3	0.60	14.1	-
0.600		60.5		0.30	8.8	
0.300	100.0	25.2		0.15	6.1	-
0.150	95.0	8.9		0.07	4.4	-
0.075	84.0	1.1				
90						A
80						
70						Λ
50						
40						
30						
20					_//	
10					-	

第11項 設定アスファルトにおける室内配合 設定アス量を加えた室内配合と理論最大密度 を確認します。確認が終わったら「次へ」ボタン を押してください。

設定アス量	5.1 4	%			<戻る	次へ >
		設定アスフ	ァルト量における	5室内配合		
材料\配合	外割(%)	含有アス量	内割(%)	含有アス量	(K)	密度
石灰石粉	5.0		4.7		1.741	2.700
粗目砂	15.0		14.2		5.081	2.795
碎石 5-2.5	80.0		76.0		27.596	2.754
排水性舗装		5.37		5.10	5.000	1.020
	105.37			ΣK=	39.418	

第12項 室内マーシャル安定度試験

室内マーシャル安定度試験の結果を入力しま す。残留安定度の表示、非表示が設定できます。 設定が終わったら「次へ」ボタンを押してくださ い。



・入力例

	1	2	3	13	15	16
一曲		6.33	1079.9	43	32	622.1
派	5.1	6.34	1084.1	40	31	626.0
毕		6.35	1081.7	42	34	624.3
		6.35	1083.7	40	32	626.7
水	5.1	6.34	1079.3	41	30	622.2
浸		6.33	1082.0	38	33	624.9

第13項 透水試験

室内透水試験結果を入力します。設定が終わっ たら「次へ」ボタンを押してください。

	試験者 小语	短原 飛太	
①供試体の平均厚さ	6.42	6.44	6.39
②供試体の平均直径	10.16	10.16	10.16
③供試体の断面積	81.1	81.1	81.1
④水頭	10.55	10.69	10.79
S測定時間	30	30	30
⑥越流量	470	500	460
⑦水温	20	20	20
⑧水温T℃における補正係数	0.998	0.998	0.998
9[()/@]	0.609	0.602	0.592
0[©/(③×⑤)]	0.193	0.206	0.189
Фк=®×Ф	0.1175	0.1240	0.1119
© K15=⊕×®	0.1173	0.1238	0.1117
^{13 K15} の平均値		0.1176	

第14項 カンタブロ試験

設定アスファルト量におけるカンタブロ試験 結果を入力します。設定が終わったら「次へ」 ボタンを押してください。

									<戸	ia %	¢∧>
試験年月日	201	7/05/11				¥	小笠	亰 飛太]	
バインダー名排水性舗装用アスファルト 👱			「パインダ加熱	バインダ加熱温度 170			- °C	ページ			
用途	62-20	igit -			混合	温度	170			1	
	-				٥	転数	300				
					転圧	回数	50				
					供試体養生	温度	150		°C		
	Γ	供試作	村法	0	0	0		@	6	6	0
パイン	\$r-	高さ	直径	容積	理論密度	空中 重	Ť	密度	空隙率	試験後空中	損失量
量	- 1									000 7	10.0
量		6.39	10.18	520.1		109	5.4	2.108		980.7	10.6
±	-	6.39 6.40	10.18 10.16	520.1 518.8		109	5.4 5.8	2.108 2.112		980.7	13.4
量 		6.39 6.40 6.42	10.18 10.16 10.17	520.1 518.8 521.5		109 109 109	5.4 5.8 5.6	2.108 2.112 2.103		949.3 997.8	10.6 13.4 9.0
5.:		6.39 6.40 6.42	10.18 10.16 10.17	520.1 518.8 521.5	2.537	109 109 109	5.4 5.8 5.6	2.108 2.112 2.103 2.108	16.9	980.7 949.3 997.8	10.6 13.4 9.0 11.0

・入力例

AS	高さ	直径	3	6
	6.39	10.18	1096.4	980.7
5.1	6.40	10.16	1095.8	949.3
	6.42	10.17	1096.6	997.8

第15項 ラベリング試験及びホイールトラッキング試験

ラベリング試験とホイールトラッキング試験 の規格と試験結果を入力します。

必要であれば浸透水量試験の結果を入力します。 設定が終わったら「次へ」ボタンを押してください。

			<戻る 次へ>
【ホイールトラッキング試験】			
□ 出力しない			
動的安定度=	7000		@/mm
規格値	5000		l/mm以上 〇 回/mm程度
【ラベリング試験】 □ 出力しない			
すりへり量=	1.2		cm2
規格値	1.3	cm2以下	
【浸透水量試験】			
□ 出力しない			
浸透水量=			ml
1010/6	-	/1Enor	

第16項 まとめ

室内配合設計のまとめを表示します。 上部のテキスト(編集可)は印刷時に出力されま す。確認が終わったら「次へ」ボタンを押してく ださい。



第3節 プラント配合設計

第1項 ホットビンの性状と合成粒度

各ホットビンの粒度と配合率を入力し、合成粒 度を算出します。



・入力例

ビン名	2ビン	4ビン
配合率	79.9	15.1
19.0	100.0	
13.2	99.2	
9.5	64.9	
4.75	1.3	100.0
2.36	0.3	96.8
0.600		60.3
0.300		25.7
0.150		8.9
0.075		1.5

第2項 現場配合表

計量順を設定して計算重量、記録重量を算出し ます。確認が終わったら「次へ」ボタンを押して ください。



第3項 試験練り混合物のマーシャル試験

試験練り混合物のマーシャル試験の結果を入 力します。設定が終わりましたら「次へ」ボタン を押してください。

1	2-51	1,130			and the								8.0	-	-				100	
	2.00	004.8				4	Atta					<	85	120	>					
BOWLE BULL		ar	77.7miLHの空波 A+ 1.020 #開始の回れ 10						в	1.00	1004									
	204	1	165.175	1.175 170			attain or failed							141910						
1000045		43	150,386	1	155		Contraction of the second		i	(30~40分支運)		3		特留安定款 第二			· · ··································			
				۰	0		0	0	٥				0	0					•	-
		1010 1010	72.	1000	20	1946/18	101212	28	素な	18.00 20.00	77. 1910	258.8	4925	RNE	25	92 8	개-	大小 東景	117	-
			(%)	-	w	100	140 18100-	0-88	0,0	(1-25/8) 1-25/8)	10-01	(N) 100(0) 700	0-0	(N) (8)(8)	1/Miles	10	1/1225cm		294	9
	1			6.34	1086.9	30.16	81.07	\$14.0	2,115			35.6			- 40	43.00	33	627.1	\$5.5	
I	2			6.71	1084.2	30.16	81.87	\$14.8	2,106			17.8			42	42.00	31	\$26.5	15.1	
i	3		5.1	6.36	12086-1	10.16	81.07	115.6	2.106			17.0			41	41.00	30	628.4	11.2	
	4																			
٩	5																			
1			Ŧ	10					2.109	2.527	8.8	36.9	22.4	38.3		42.00	31		10.9	
I	1			6.33	1082.9	30.16	81.07	\$15.2	Z-138			36.8			39	39.00	.38	635.9	13.1	5
d	. 2			6.36	3084.2	30.16	81.07	\$15.6	2.105			17.1				+0.00	30	625.2	13.0	. 6
z	3		5.1	6.35	1082.0	30.36	81.07	\$14.8	2.102			\$7.5			-42	40.00	24	622.4	100	
•[4																			
1	5																			
			Ŧ	10					2,105	2.537	10.3	17.8	27.5	38.2		46.33	38		11.0	

	1	2	3	13	15	16
+亜		6.34	1086.9	43	33	627.1
派	5.1	6.35	1084.2	42	31	626.5
4		6.36	1086.1	41	30	628.4
		6.33	1082.9	39	30	626.9
水	5.1	6.36	1084.2	40	30	625.2
浸		6.35	1082.0	42	31	623.4

第4項 最終現場配合表

最終現場配合表の設定をします。 最初に「初期化」ボタンを押してください。表示 小数桁および表示されている値の設定が終わっ たら「次へ」ボタンを押してください。

			初期化	<戻る	次^	<>
最終現場西	合表		ど	の計量精度 小装	t」点第 2	一位ま
	0	0	٩	•	\$	
材料入項目	配合(A)	配合(B)	混合物配合	計量重量	記録重量	
	(%)	(%)	(%)	(Kg)	(Kg)	
	骨材	全配合	①×(100-AS量)	③/100×	記録紙	
		(外割)	/100	パッチの計量値	(累計値)	
IN						1
IIN	79.9		75.9	759.00	759.00	2
IIN						3
BIN	15.1		14.3	143.00	902.00	4
						5
						6
						7
						8
						4
						3
灰石粉	5.0		4.7	47.00	47.00	1
						2
			E 1	E1.00	E1 00	1
			5.1	51.00	51.00	2
			5/ 			3
-itt						
	100.0		100.0	1000.00	1000.00	

ここでは、最終現場配合表を作成する作業をしま す。各プラントの実態に沿った設定をしてくださ い。このデータではビンの計量単位はkg単位とす ることにします。

まず最初に、「初期値」ボタンを押して現場配

合表のデータを読み出します。

次にビンの計量重量の表示桁を変更します。今回はビンの計量値をkg単位で計量することにします。

そのためにはフォーム上部にある有効桁欄を 0 に設定します。

ビンの計量精度 小数点第 💈 🕂 位まで

マウスでテキストボックス(白い四角)横にある黒 い三角の下向きの部分(▼)をクリックしてくださ い。すると、数字が変化しますので0にしてくだ さい。

このようになります

ビンの計量精度 小数点第 🕛 🕂 位まで

この有効桁の設定はホットビンの有効少数桁 の数です。その他の桁数を修正したい場合は、そ の箇所にカーソルを合わせて編集して下さい。

データの入力が終わりましたら、「次へ」ボタ ンを押してください。最初のフォームが表示され ます。

これで全てのデータ入力は終了しました。 次は印刷処理を行います。

第4章 配合設計書の印刷

第1節 印刷の設定

第1項 印刷フォームの表示

)	設定(0)	使い方(日)	
	🚭 印刷	🔐 出力選択	ボタンから

用アスコン

	排水性舗装用配合設計	システ
	ファイル(<u>E</u>) データ(<u>D</u>)	設定
メニューから	新規作成(N) 開く(O) 保存(S)	() () ()
	削除(D)	スエン
	印刷(P)	
	終了(Q)	

メインフォームの「印刷」ボタンを押すか、フォ ーム上部のメニューにある「ファイル(F)」→「印 刷(P)」を押すことで、印刷設定フォームが表示 されます。

印刷設定フォーム

縱印刷空白(印刷位置)			
右へ 5 🕂 🕂 mm	下八 5	÷ mm	プレビュー
横印刷 空白(印刷位置)			
右へ 5	下八 5	mm	印刷
プリンタの設定			設定保存
プリンタ名		設定	
Adobe PDF		•	
フォント			
MS 明朝		-	月月1 " 乙

第2項 プリンタの設定

プリンタの設定	
プリンタ名	プリンタ設定
Adobe PDF	-
フォント	
MS 明朝	•

印刷するプリンタを選択することが出来ます ので使用するプリンタとフォント名を選択して ください。

第3項 オフセット

オフセットとは、配合設計書の印刷位置がプリ ンタ機種によって、多少のズレが生じる事がある ため、印刷位置の微調整に使います。通常はどち らとも 20mm の設定です。

第4項 設定保存

オフセットや普段使うプリンタ名は「設定保 存」ボタンを押して保存してください。次回から は設定を変えることなく印刷ができます。

「プレビュー」ボタンを押すとプレビュー画面を 見ることが出来ます。

「印刷」ボタンを押すと印刷を開始します。

第2節 印刷の開始

プレビューフォーム



プレビューフォームのボタン <u>
かけいだユー
画</u> << >> - + 100% 1ページ/15ページ このページを印刷 ED刷 開びる 設計 ページの移動 ① 最終頁 ②次頁 0 G 左:前ページへ 右:次ページへ プレビューの拡大率 C **R** +:拡大 縮小 拡大 全体 頁幅 -:縮小 排水性配合設計 印刷ウィンドウが表示 されます。 0 印刷(P) 先記

印刷のプレビューが表示されますので、実際に 紙に出力する前に確認する事が出来ます。また、 このフォームで各ページ毎の印刷も出来ます。



再度、プリンターと印刷範囲が表 示されます。

ー部分を印刷する場合はページ 指定を選択してページ数を入力 してください。

「OK」をクリックすると印刷が 開始されます 第5章 合材ファイルの管理

第1節 合材ファイルを開く

第1項 作成した合材ファイルを開く

作成した配合設計データ(以下合材ファイル)を 呼び出すには

the second stands and	
新現作成(N)	
開<(O)	
保存(S)	
削除(D)	
印刷(P)	
終了(Q)	

フォーム上部メニューにある「ファイル(F)」→ 「開く(O)」を選択するか、「混合物名」の横にあ る「▼」をクリックし合材名を選択して下さい。

第2節 合材ファイルを保存する

第1項 合材ファイルを保存する

合材ファイルを保存するには「混合物名」欄に 名前が入力されている条件下において、フォーム 右上の「保存」ボタン「データ入力」ボタンを押 すか、フォーム上部メニューにある「ファイル」 →「保存」を選択して下さい。



1	排水性舗装用配合設計シ
77	ァイル(F) データ(D)
	新規作成(N)
	開<(O)
	保存(S)
	削除(D)
	印刷(P)
	終了(Q)

第3節 合材ファイルを削除する

第1項 合材ファイルの削除

合材ファイルを削除するには削除したい合材 ファイルを用いた後フォーム上部のメニューに ある「ファイル(F)」→「削除(D)」を選択して下 さい。

_	
ファ	・イル(F) データ(D)
	新規作成(N)
	開<(O)
	保存(S)
	削除(D)
	印刷(P)
	終了(Q)

第6章 配合設計のデータを品質管理に移行する

第1項 合材データを品質管理へ移行

品質管理にデータを移行させる場合は 合材データを開いた状態にして 上部のメニューにある「データ(D)」→「合材デー タ(G)」選択して下さい。

ファイル(F)	デー	·夕(D)	設定(0)	使い方(ト
🔚 保存		粒度規	格(R)	
		混合物	の規格(K)	
混合物名		プラン	/ト情報(P)	
印刷名		材料(2	Z)	•
作成年月日		合材テ	"一夕(G)	



配合設計で作成したデータが表示されます。

登録ボタンをクリックして保存します。

